

◆ 消防からのお知らせ ◆

大雪や暴風雪による事故から身を守りましょう！

家の周りを点検しましょう！



例年、大雪に伴い屋根からの落雪や落氷によりガスボンベや灯油タンクの配管・本体が破損し、内容物が漏れる事故が発生しております。漏洩物は土壤汚染や引火による、爆発・火災の原因となります。またFF式ストーブの吸排気口が雪に埋もれた状態でストーブを使用すると一酸化炭素中毒を引き起こす原因となりますので各ご家庭で、定期的に点検や除雪を行うようお願い致します。

除雪機の使用にはご注意を！



除雪機による事故が多発しています。除雪機を使用する際には、次の点に注意して操作しましょう。

- ①作業を行う前に必ず取扱説明書を読んで正しい使い方を理解しましょう。
- ②雪詰まりを取り除く時は、必ずエンジンを停止し、回転部（オーガ、ブロワ）が完全に停止してから、雪かき棒を使って行いましょう。
- ③走行、作業中は転倒または、挟まれたりしないように足元や後方の障害物には十分注意しましょう。
- ④除雪作業中は雪を飛ばす方向に人や車、建物がないことを確認しましょう。

また、除雪機の周りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

車での外出にはご注意を！



- ①大雪や暴風雪時にやむを得ず車で外出する際は、携帯電話、防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出掛けましょう。

- ②車の運転中に暴風雪や地吹雪に遭遇してしまうと、そのまま運転を続けるのは大変危険です。コンビニなどで天気の回復を待つとともに、気象情報や道路状況を確認しましょう。

また、視界すべてが真っ白になるホワイトアウトと呼ばれる状態などにより立往生してしまったときは、ハザードランプを点灯し近くの人家やコンビニなどに助けを求めましょう。

※近くに助けを求められる場所がないときは警察・消防に連絡しましょう。

- ③車から出られなくなったときや救助を待つときは、次の点に十分注意しましょう。

☆車が雪に埋もれることで排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症の危険性が生じます。原則エンジンは停止させ、体温の低下を防ぐため防寒に心がけましょう。

☆やむを得ずエンジンを掛けるときは、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。また、窓を開けていても風向によっては、窓を閉めているときよりも一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。

◎問い合わせ先 小平消防署 (☎56-2221)、鬼鹿支署 (☎57-1253)

火事と救急救助は119番